

令和6年度学力検査問題

社 会

注意

- 1 監督者の開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから9ページまであります。
- 3 解答は、全て解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 4 解答用紙の※印の欄には、何も記入しないでください。
- 5 監督者の終了の合図で筆記用具を置き、解答面を下に向け、広げて机の上に置いてください。
- 6 解答用紙だけを提出し、問題冊子は持ち帰ってください。

1

千秋さんは、わが国の古代から近代の各時代の政治、文化、経済に関するおもしろいできごとを表にまとめた。表をみて、各問に答えよ。

〈表〉

時代	政治	文化	経済
古代	貴族による ^{せつかんせいじ} 摂関政治が行われた。	日本の風土に合った① <u>国風文化</u> が生まれた。	A
中世	② <u>武家政権</u> による支配がしだいに広がった。	^{ぜんしゅう} 禅宗の影響を受けた文化が栄えた。	B
近世	③ <u>幕藩体制</u> による支配のしくみが整えられた。	^{かみかた} 上方を中心に、町人の文化が栄えた。	C
近代	④ <u>立憲制国家</u> のしくみが整えられた。	西洋の影響を受けた文化が広まった。	D

問1 下線部①に最も関係の深い人物を、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

- 1 ^{かんじん}鑑真 2 ^{しゅうむ}聖武天皇 3 ^{せいしょうなごん}清少納言 4 ^{なかのおおえのおうじ}中大兄皇子

問2 表のA～Dには、各時代の経済に関するできごとがあてはまる。Bにあてはまるものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

- 1 商工業者が同業者ごとに^{かぶな}株仲間をつくり、営業を独占した。
 2 都と地方を結ぶ道路が整えられ、^{ちやう}調や^{よう}庸などの税が運ばれた。
 3 殖産興業政策のもと、新しい技術の開発や普及がはかられた。
 4 交通の盛んな所では^{ばしやく}馬借や^{しやく}車借、^{まい}問（問丸）といった運送業者が活躍した。

問3 下線部②に関する次の1～4のできごとを、年代の古い方から順に並べ、番号で答えよ。

- 1 南朝が北朝に統一され、南北朝の内乱が終わった。
 2 ^{じやうこう}上皇らが^{おき}隠岐などに追放され、京都に^{ろくはら}六波羅探題が置かれた。
 3 多くの守護大名を巻き込んだ戦乱が京都で起き、^{げいこくじやう}下剋上の風潮が広まった。
 4 国ごとに守護を、^{しゆん}荘園や^{こうりやう}公領ごとに^{じどう}地頭を置くことを、初めて朝廷が認めた。

問4 下の□内は、千秋さんが、下線部③の時期のできごとについてまとめたものである。

㊦、㊧の（ ）にあてはまるものを、それぞれ一つ選び、記号を書け。

幕府は、㊦(a ^{ごせいはいしきく}御成敗式目、b ^{ぶけしよはつど}武家諸法度)を定め、築城などに規制を設けて、大名を統制した。また、幕府は、年貢を負担する百姓が㊧(c ^{こめ}米、d ^{ちとち}土地)を売買することを禁止した。

問5 下の□内は、千秋さんが、下線部④についてまとめたものである。㊨の（ ）にあてはまるものを一つ選び、記号を書け。また、(㊩)にあてはまる語句を書け。

㊨(a ^{いたがきたいすけ}板垣退助、b ^{いとうひろふみ}伊藤博文)らが作成した憲法案は、審議を経て、大日本帝国憲法として発布された。この憲法の条文には、国民に(㊩)の範囲内で言論の自由といった権利を認めることが定められた。

問6 下の□内は、千秋さんが、近世から近代へと移り変わるころのできごとが人々の生活に与えた影響についてまとめたものである。(㊫)、(㊬)にあてはまる語句を正しく組み合わせたものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。また、〔㊭〕にあてはまる内容を、「物価」の語句を使って書け。

^{おうへい}欧米諸国との貿易が始まると、日本からはおもに(㊫)が輸出されたが、生産が追いつかず、国内では品不足となった。また、日本と外国の金と銀の交換比率が異なっていたことから(㊬)が流出した。これらの影響で、国内では〔㊭〕こともあり、人々の生活は苦しくなった。

- 1 ㊫は生糸、㊬は金 2 ㊫は生糸、㊬は銀 3 ㊫は綿糸、㊬は銀 4 ㊫は綿糸、㊬は金

2

緑さんは、20世紀以降のわが国と世界との関わりについて調べ、カードにまとめた。カードをみて、各問に答えよ。

〈カード〉

<p>A 第一次世界大戦後の欧米で民衆の政治参加が進む中、わが国では民主主義を求める風潮である()が広がった。</p>	<p>B 国際情勢の変化により、GHQは占領政策を転換し、①わが国は国際社会に復帰した。</p>	<p>C ②高度経済成長の<u>時期</u>に、わが国は貿易を拡大し、GNPは資本主義国の中で第2位となった。</p>	<p>D グローバル化が進み、地球規模の課題解決に向け、わが国も③<u>環境</u>分野で貢献している。</p>
---	---	--	---

問1 カードAについて、()にあてはまる語句を書け。

問2 下の□内は、緑さんが、下線部①について、資料I、IIから読み取れることをもとにまとめたものである。㊦と㊧の()にあてはまるものを、それぞれ一つ選び、記号を書け。

資料Iに調印すると同時に、わが国は㊦(a 日米安全保障条約、b 日中平和友好条約)を結んだ。資料IIに調印した年と同じ年に、わが国は㊧(c 国際連盟、d 国際連合)に加盟した。

〈資料I〉

日本国と各連合国との戦争状態は、第23条の定めるところにより、この条約が日本国と当該連合国との間に効力を生ずる日に終了する。

〈資料II〉

日本国とソ連との間の戦争状態は、この宣言が効力を生ずる日に終了し、両国の間に平和及び友好善隣関係が回復される。

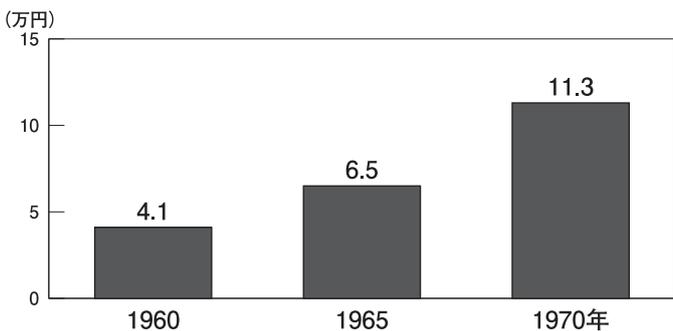
※資料I、IIは、条約等を抜粋、改変

(資料I、IIは、外務省ホームページから作成)

問3 下の□内は、緑さんが、下線部②のわが国の人々の暮らしについてまとめたものである。〔 〕にあてはまる内容を、資料III、IVから読み取って書け。

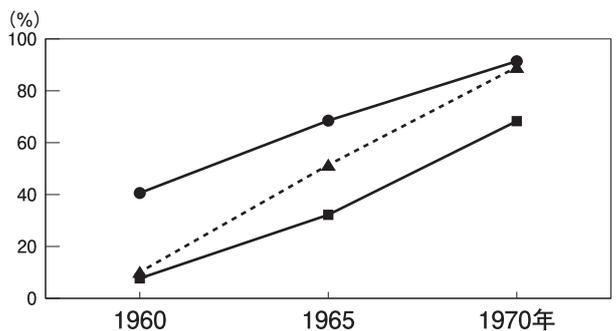
わが国では、〔 〕ことで、家事の時間が短縮され、人々は余暇を楽しむゆとりができた。

〈資料III〉 1世帯あたり年平均1か月間の収入額の推移



(第7版「数字で見る日本の100年」から作成)

〈資料IV〉 家庭電化製品の普及率の推移



● 電気洗濯機 ▲ 電気冷蔵庫 ■ 電気掃除機

(内閣府資料から作成)

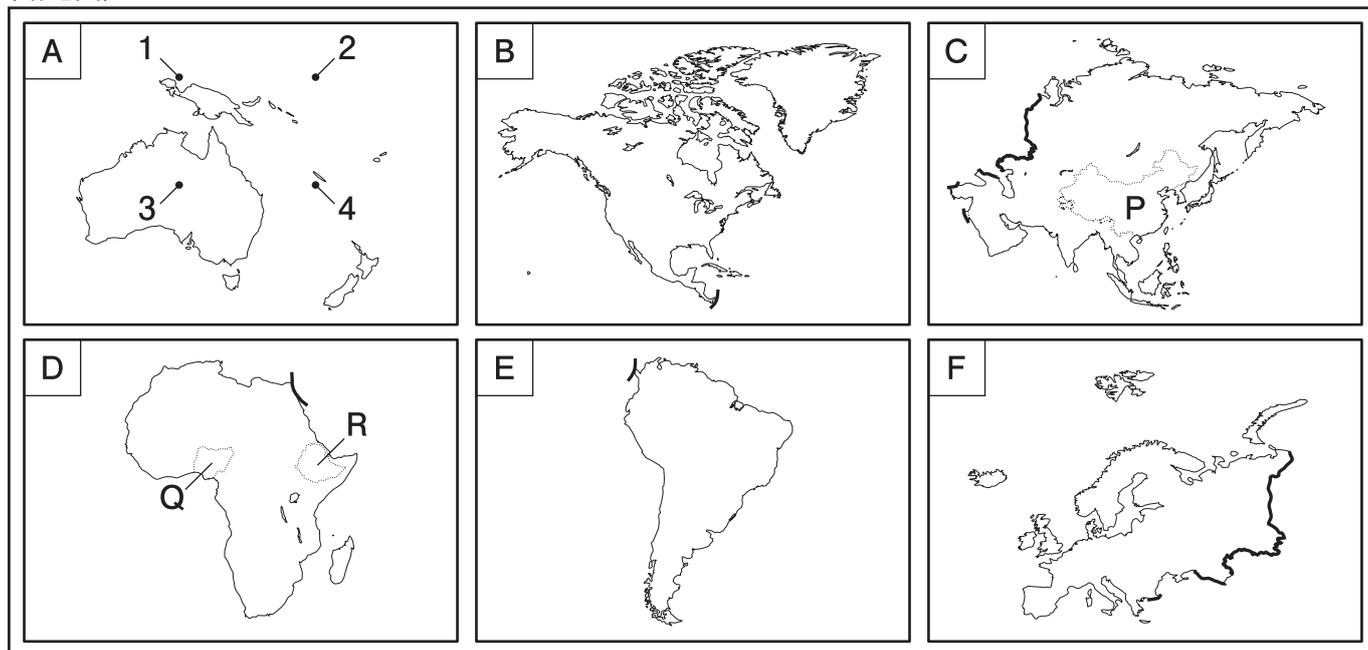
問4 下線部③に関する次のあ～うのできごとを、年代の古い方から順に並べ、記号で答えよ。

- あ 地球環境問題への対策を進めるため、環境基本法を制定した。
- い 温室効果ガスの削減目標を全参加国が定めるパリ協定に参加した。
- う 排煙の基準を決めるなど、公害防止の規制を強めた公害対策基本法を制定した。

3

由希さんは、世界の州や国の特色などについて調べるため、略地図を作成した。略地図のA～Fは、世界の六つの州を示している。略地図をみて、各問に答えよ。

〈略地図〉

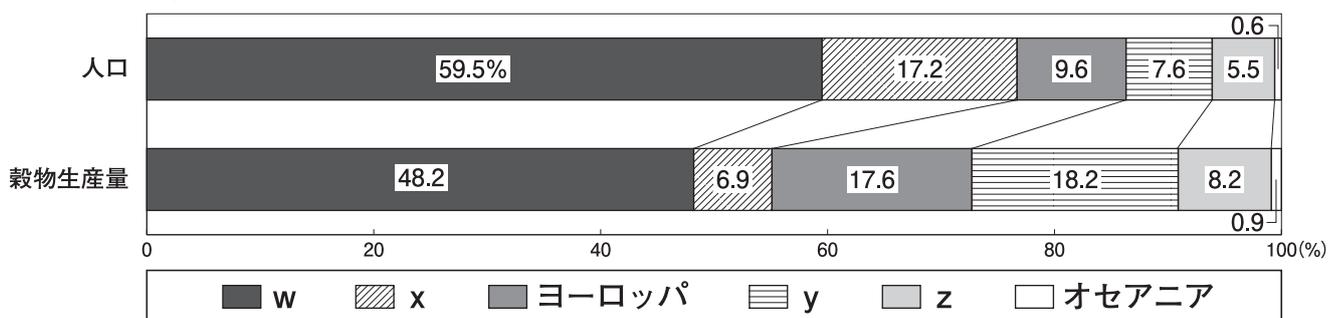


(～は州境を示す。略地図A～F，資料Ⅵの図法，縮尺は同じではない。)

問1 略地図A中に1～4で示した・のうち、赤道と日本標準時子午線の交点を、1～4から一つ選び、番号を書け。

問2 資料Ⅰのw～zには、略地図A～Fの州のうちヨーロッパ州とオセアニア州以外の州があてはまる。Bの州にあてはまるものを、w～zから一つ選び、記号を書け。

〈資料Ⅰ〉人口，穀物生産量の州別割合（2020年）



※ロシア連邦の人口，穀物生産量は，ヨーロッパ州に含む。

(2022年版「データブック オブ・ザ・ワールド」等から作成)

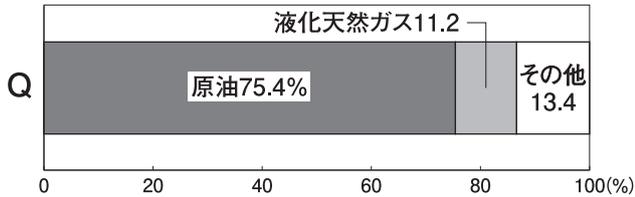
問3 下の□内は、略地図C中のPの国について説明したものである。〔 〕にあてはまる内容を、「経済特区」と「受け入れる」の語句を使って書け。

Pの国は、〔 〕ことで、資本や技術の導入を進め、急速に工業を発展させてきた。それにともない、国内では、内陸の農村部から沿岸の都市部への人口移動がみられるようになった。

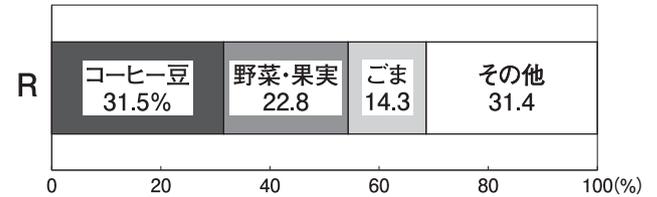
問4 下の□内は、由希さんが、資料Ⅱ、Ⅲから、略地図Dの州について調べたことをまとめたものである。(ア)にあてはまる語句を書け。また、①、②の()にあてはまるものをそれぞれ一つ選び、記号を書け。ただし、同じ記号は同じ語句を示している。

Q, Rの国は、輸出の特色から、(ア)とよばれる状態にあり、Dの州には、(ア)の国が多くみられる。Q, Rの国のおもな輸出品は、国際価格の変動が①(a 大きい, b 小さい)ため、国の収入が②(c 安定しやすい, d 不安定になりやすい)傾向がある。

〈資料Ⅱ〉 Qの国のおもな輸出品目の内訳(2020年)



〈資料Ⅲ〉 Rの国のおもな輸出品目の内訳(2020年)

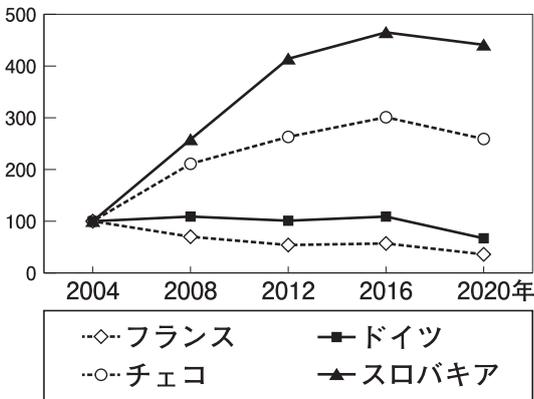


(資料Ⅱ, Ⅲは、2022/23年版「世界国勢図会」から作成)

問5 下の□内は、由希さんが略地図Fの州について調べたことをまとめたものである。[]にあてはまる内容を、資料Ⅴ, Ⅵを関連づけ、「関税」の語句を使って書け。

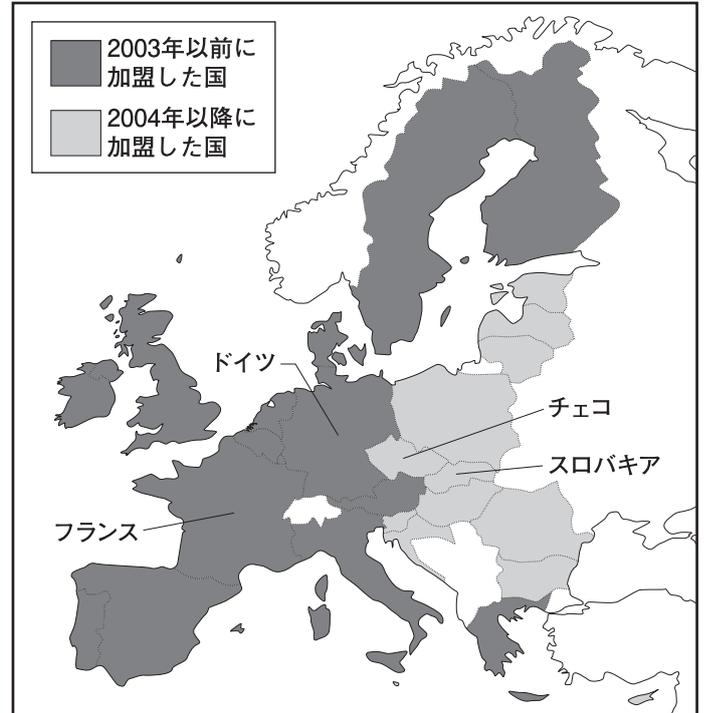
2004年以降、資料Ⅳのように、東ヨーロッパの国の自動車生産台数の伸びが著しい。その理由の一つに、企業が、生産拠点を西ヨーロッパから東ヨーロッパに移していることがある。企業が、生産拠点を東ヨーロッパに移す利点は、[] ことである。

〈資料Ⅳ〉 自動車生産台数の割合の推移



※2004年のそれぞれの国の生産台数を100として表している。
(国際自動車工業連合会ホームページから作成)

〈資料Ⅵ〉 EU加盟国



※イギリスは、2020年にEUから離脱
(2022/23年版「世界国勢図会」から作成)

〈資料Ⅴ〉 製造業月平均賃金(2020年)

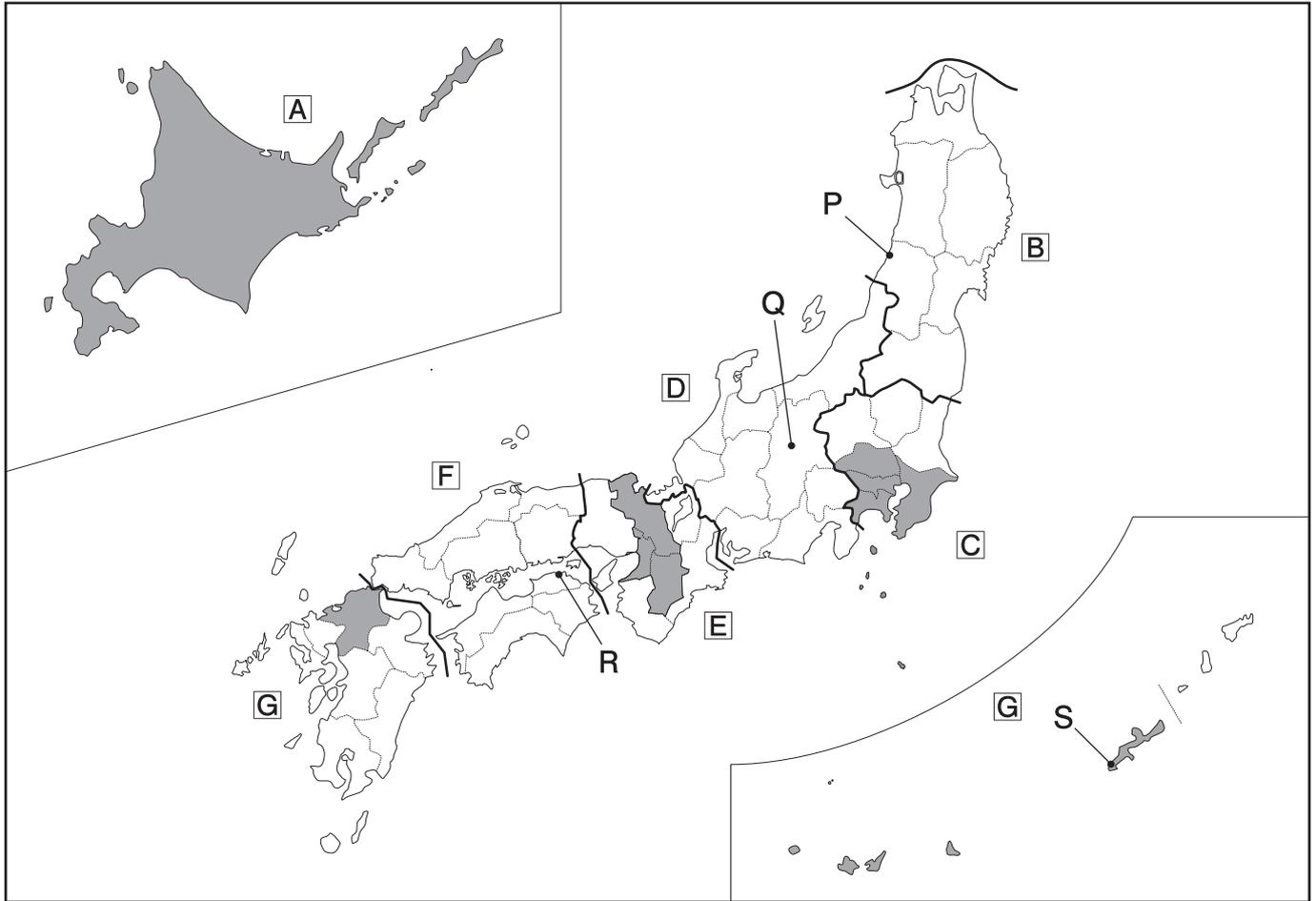
国名	項目	製造業月平均賃金(ドル)
フランス		6 222
ドイツ		5 252
チェコ		1 618
スロバキア		1 566

(「世界の統計2023」から作成)

4

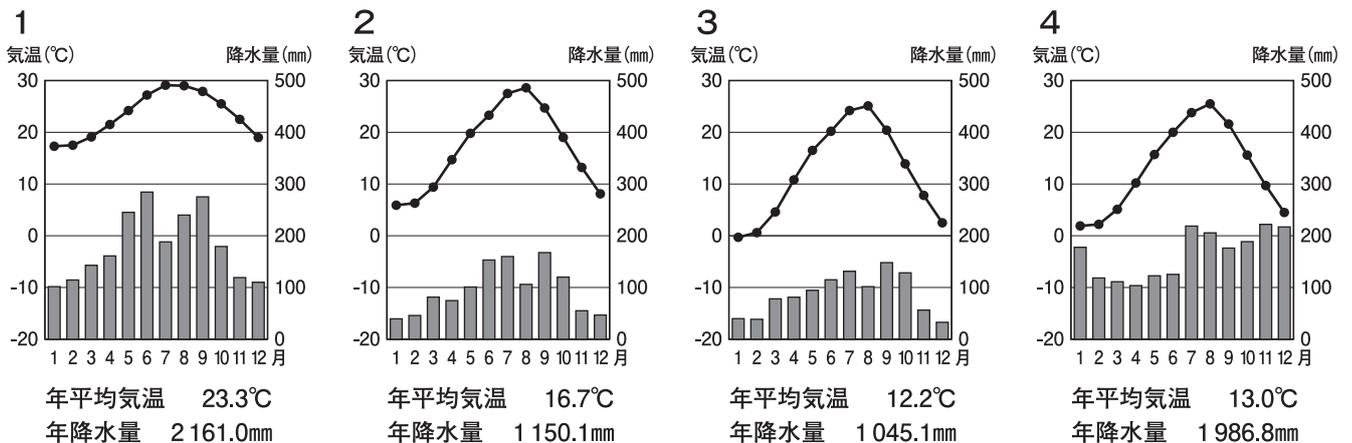
優真さんは、日本の七つの地方（中国・四国地方を一つの地方とする。）の特色を調べるため、略地図を作成し、資料を集めた。略地図のA～Gは、日本の各地方を示している。略地図と資料をみて、各問に答えよ。ただし、同じ記号は同じ地方を示している。

〈略地図〉



(―は地方の境界を示す。略地図，資料Ⅱ，Ⅲの図法，縮尺は同じではない。)

問1 下の1～4は、略地図中P～Sのいずれかの都市の雨温図である。P，Rの都市の雨温図を、1～4からそれぞれ一つ選び、番号を書け。



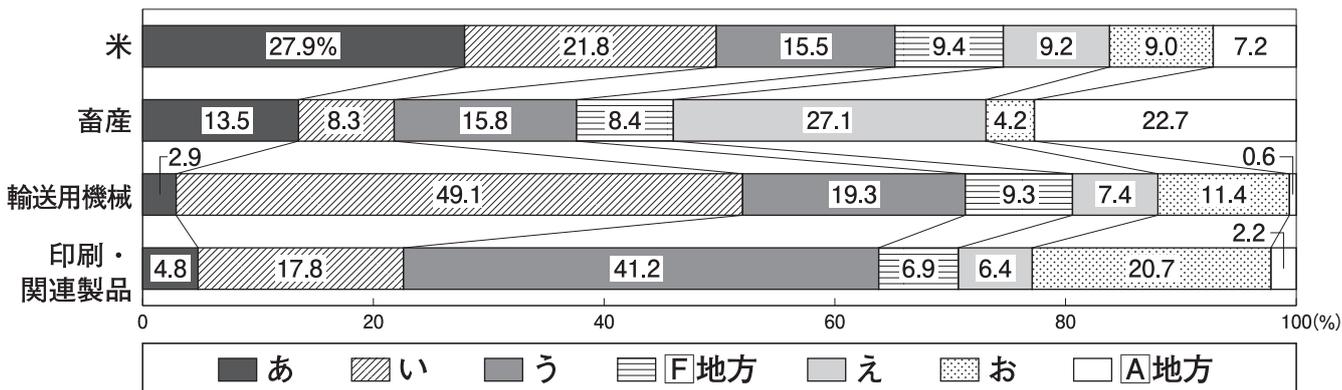
(気象庁ホームページから作成)

問2 略地図中●で示した都道府県は、下の1～4のいずれかの都道府県別統計(2020年)の上位10都道府県である。どの統計をもとにしたものか、1～4から一つ選び、番号を書け。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 火力発電発電量 | 2 65歳以上人口の割合 |
| 3 産業別人口に占める第三次産業の割合 | 4 林野面積 |

問3 資料Ⅰのあ～おには、略地図のA～G地方のうちA地方とF地方以外の地方があてはまる。
E地方にあてはまるものを、あ～おから一つ選び、記号を書け。

〈資料Ⅰ〉農産物の産出額と工業製品の製造品出荷額等の地方別割合（2019年）

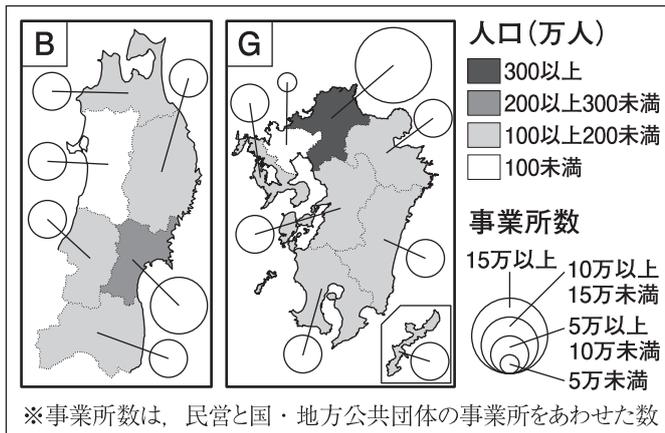


（2023年版「データでみる県勢」等から作成）

問4 下の□内は、優真さんが、略地図のB, G地方の特色についてまとめたものである。
(㊦), (㊧) にあてはまる県名をそれぞれ書け。また, [(㊨)] にあてはまる内容を、
資料Ⅱ, Ⅲから読み取って書け。

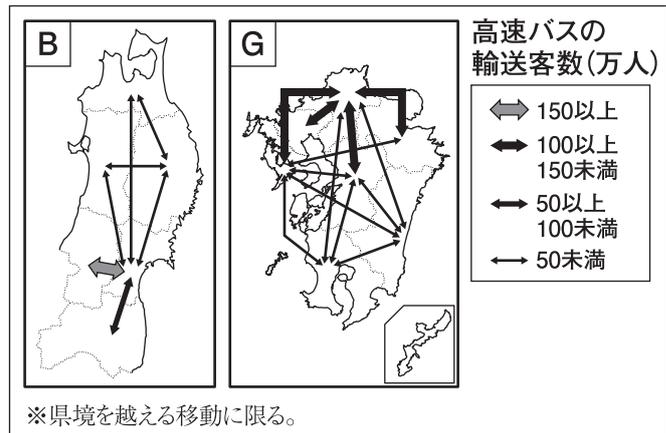
B地方の(㊦), G地方の(㊧)は, [(㊨)] ことから, 両県は, それぞれの地方の産業や交通の中心となっているといえる。

〈資料Ⅱ〉人口と事業所数（2019年）



（2022年版「データでみる県勢」等から作成）

〈資料Ⅲ〉高速バスの輸送客数（2019年）

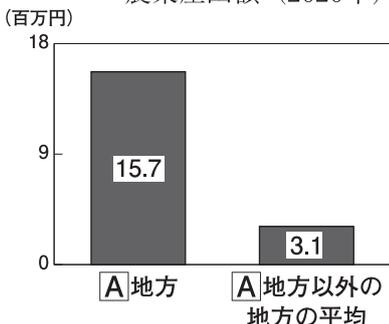


（国土交通省ホームページから作成）

問5 下の□内は、優真さんが、略地図のA地方の農業の特色についてまとめたものである。[]にあてはまる内容を、資料Ⅴ, 写真から読み取って書け。

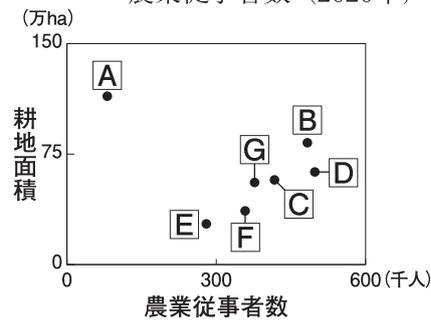
A地方の農業は、資料Ⅳから、A地方以外の地方の平均と比べて、農業従事者一人あたりの農業産出額が多い。また、資料Ⅴ, 写真から [] という特色があるといえる。

〈資料Ⅳ〉農業従事者一人あたりの農業産出額（2020年）



（2023年版「データでみる県勢」から作成）

〈資料Ⅴ〉A～G地方の耕地面積と農業従事者数（2020年）



（2023年版「データでみる県勢」等から作成）

〈写真〉A地方でみられる大型の機械を利用した農作業の様子



（北海道庁ホームページから引用）

5

直美さんと知広さんの学級では、班ごとにテーマを決めて発表することになり、調べた内容の一部をカードにまとめた。カードをみて、各問に答えよ。

〈カード〉

1班 テーマ「日本国憲法と三権分立」

①日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本原則としている。この憲法では、②三権が互いに権力の均衡を保つしくみがとられている。

2班 テーマ「地方自治と政治参加」

③地方の政治は、私たちのくらしに深く関わっている。よりよい地域社会を築くために、積極的に政治参加していくことが求められている。

3班 テーマ「経済政策と金融」

日本銀行や政府は、景気の安定を図る④経済政策を行っている。また、金融は、資金の流れを円滑にすることで、個人や⑤企業の経済活動を助けている。

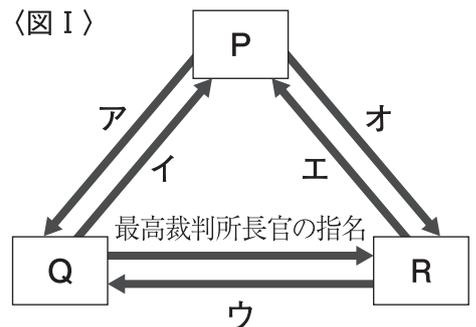
4班 テーマ「これからの社会保障制度」

⑥社会保障制度の充実、安定化のためには、自助、共助及び公助が適切に組み合わせられるように、世代を超えた協力が必要になる。

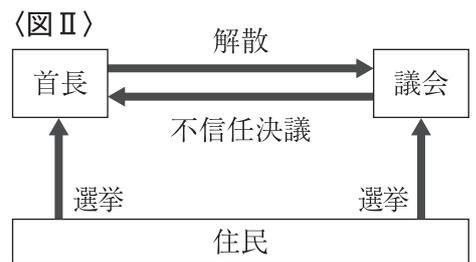
問1 下線部①について、下の□内の(イ)、(ロ)にあてはまる語句をそれぞれ書け。

日本国憲法は、子どもに普通(イ)を受けさせる義務、(ロ)の義務、納税の義務を、国民の義務として定めている。

問2 下線部②について、図ⅠのP～Rには、国会、内閣、裁判所のいずれかが入る。図ⅠのP～Rのうち、内閣を示すものはどれか、P～Rから一つ選び、記号を書け。また、衆議院の解散を示すものを、ア～オから一つ選び、記号を書け。



問3 下線部③について、図Ⅱは地方の政治のしくみを模式的に示したものである。国の政治のしくみにはみられない、地方の政治の特徴を、図Ⅱから読み取り、「首長が、」の書き出しで書け。



問4 下線部④について、表は、金融政策と財政政策の一部をまとめたものである。次のア～エは、表中の①～④のいずれかにあてはまる。②、③にあてはまるものを、ア～エからそれぞれ一つ選び、記号を書け。

- ア 減税政策を行う。
- イ 国債などを売る政策を行う。
- ウ 国債などを買う政策を行う。
- エ 公共投資を減らす政策を行う。

〈表〉

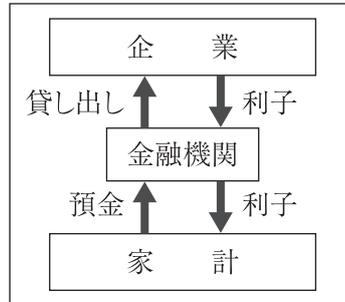
政策	金融政策	財政政策
状況		
好景気(好況)のとき	①	②
不景気(不況)のとき	③	④

問5 下の□内は、下線部⑤について、図Ⅲ、Ⅳをもとに、企業が家計から資金を集める方法についてまとめたものである。(1)、(2)に答えよ。ただし、同じ記号は同じ語句を示している。

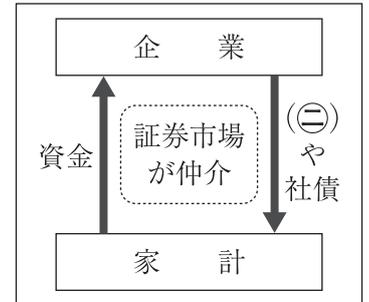
企業が家計から資金を集める方法は、おもに二つある。一つは、間接金融で、図Ⅲのように、企業が〔㊦〕方法である。もう一つは、直接金融で、図Ⅳのように、企業が(㊧)を発行することで家計から資金を調達する方法である。

- (1) 〔㊦〕にあてはまる内容を、図Ⅲから読み取り、「家計」の語句を使って書け。
 (2) (㊧)にあてはまる語句を書け。

〈図Ⅲ〉



〈図Ⅳ〉

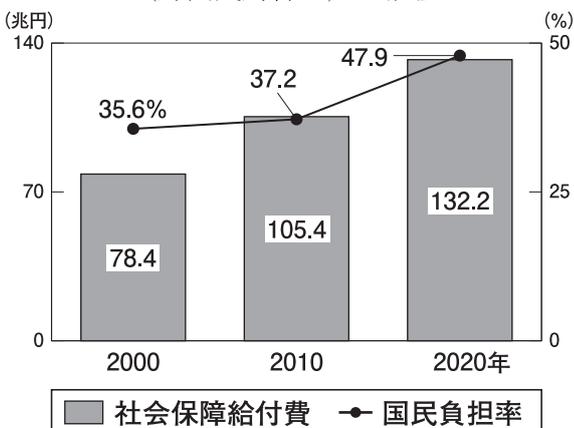


問6 下の□内は、下線部⑥について、直美さんと知広さんが、資料Ⅰ、Ⅱをもとに会話した内容の一部である。会話文を読み、(1)、(2)に答えよ。ただし、同じ記号は同じ語句を示している。

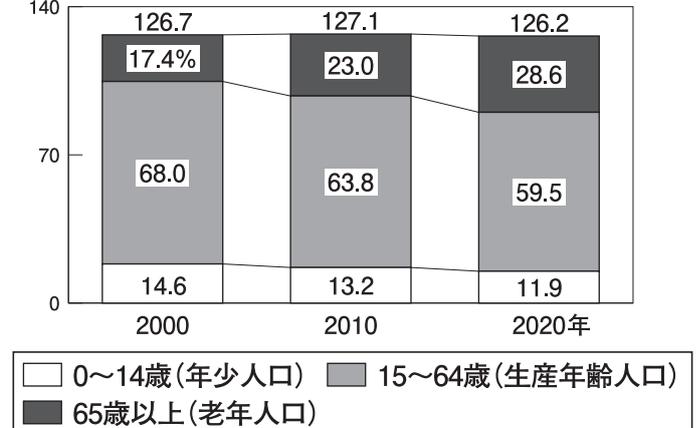
〈会話文〉

直美： わが国の社会保障制度は、日本国憲法第25条の(㊨)の規定に基づいているよ。
 知広： そうだね。これまでわが国の社会保障制度は、(㊨)を実現するための制度として、国民の生活水準の向上に役立ってきたけれど、現在、資料Ⅰのように、社会保障給付費の増加にとともに、国民負担率が上昇していることがわかったよ。
 直美： その理由の一つには、〔㊩〕ことで、社会保障給付費の財源となる、社会保険料収入や税収が不足していることが考えられるね。
 知広： こうした課題を踏まえ、私たちも自分のこととして、今後のわが国の社会保障のあり方について、考え続けていくことが大切だね。

〈資料Ⅰ〉 社会保障給付費と国民負担率(対国民所得比)の推移



〈資料Ⅱ〉 わが国の総人口と年齢別人口割合の推移(百万人)



※国民負担率とは、租税負担率と社会保障負担率との合計

(資料Ⅰ、Ⅱは、厚生労働省資料等から作成)

- (1) (㊨)にあてはまるものを、次の1~4から一つ選び、番号を書け。
 1 団結権 2 生存権 3 自由権 4 平等権
 (2) 〔㊩〕にあてはまる内容を、資料Ⅱから読み取り、「老年人口」と「生産年齢人口」の語句を使って書け。

6

下の □ 内は、博実さんと千里さんが、漁業と海洋汚染について調べ、それぞれ作成したノートをもとに、会話した内容の一部である。会話文を読み、各問に答えよ。ただし、同じ記号は同じ内容を示している。

〈会話文〉

千里： 博実さんのノートの図Ⅰは、(P)の「海の豊かさを守ろう」という目標を示したものだよね。
 博実： そうだよ。私は、「海の豊かさを守ろう」の中の漁業について調べたよ。資料Ⅰから、1979年と2019年を比べると、〔 Q 〕というおそれがあることがわかったよ。
 千里： 何か解決に向けた取り組みは行われていないのかな。
 博実： 消費者が適正に漁獲された魚介類を選びやすくするために、図Ⅱのようなラベルを商品につける取り組みが行われているみたいだよ。
 千里： 消費者がラベルのついた商品を選ぶことで、どんな効果があるのかな。
 博実： ノートの【考えたこと】に効果をまとめたよ。
 千里： なるほど、私たちにできる身近なことが、海の豊かさを守ることにつながっているんだね。
 博実： 千里さんは、どんなことを調べたのかな。
 千里： 私は、海洋汚染について調べて、資料Ⅱのようなことがわかったよ。海洋汚染を解決する上でも、私たちにできる身近なことが大切で、それが海の豊かさを守ることにつながると思うよ。

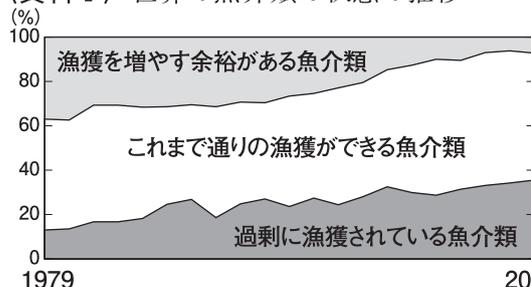
〈博実さんのノート〉

〈図Ⅰ〉



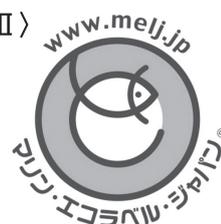
(外務省ホームページから引用)

〈資料Ⅰ〉世界の魚介類の状態の推移



(水産庁ホームページ等から作成)

〈図Ⅱ〉



※水産庁ホームページ等で紹介されている水産エコラベルの一つ
 (日本水産資源保護協会ホームページから引用)

【考えたこと】

消費者が、水産エコラベルがついた商品を選ぶ。

小売業者が、水産エコラベルがついた商品の取り扱いを増やす。

生産者が、漁獲を調整する。

〔 Q 〕という問題の解決が期待できる。

〈千里さんのノート〉

〈資料Ⅱ〉海洋プラスチックごみの状況

- ・海洋ごみの65.8%は海洋プラスチックごみ
- ・総量は年間約800万t
- ・約8割以上が陸から海に流れ着いたもの
- ・海洋プラスチックごみの自然分解に必要な期間は長いもので数百年

(WWFジャパンホームページから作成)

〈資料Ⅲ〉福岡県の認証ステッカーとプラスチックごみ削減に協力する小売業者の取り組みの一部



小売業者の取り組み例

- ・レジ袋の削減
- ・紙ストローへの変更
- ・食品トレー、ペットボトルの回収

(福岡県ホームページから作成)

問1 会話文の (P) にあてはまるものを、下の 1～4 から一つ選び、番号を書け。

- 1 ODA 2 APEC 3 SDGs 4 TPP

問2 〔 Q 〕にあてはまる内容を、資料Ⅰから読み取れることをもとに、「維持」の語句を使って書け。

問3 下線部について、資料Ⅲは、福岡県の取り組みの一つである。消費者が、資料Ⅲの取り組みに協力することで期待できる効果を、消費者としてあなたが行う具体的な行動をあげて書け。その際、資料Ⅲに示す小売業者の取り組み例のいずれか一つを踏まえ、「供給」と「海洋プラスチックごみ」の語句を使って書け。